

庄内町立谷沢川流域活性化センター
タチラボの伊高西
 計木尾
 デス! デス! デス!

「庄内町のほしがきさん」新東北みやげ
 コンテストで「デザイン特別賞」受賞!

第6回新東北みやげコンテストで、地域おこし協力隊が開発した「庄内町のほしがきさん」がデザイン特別賞を受賞しました!

「庄内町のほしがきさん」の受賞は、第4回やまがた土産菓子コンテスト わがまちの土産菓子部門最優秀賞(山形県知事賞)・同パッケージデザイン賞に続いて3つ目となりました。

ハンドメイド、タチラボメイド。

従来の10個入りに加えて5個入りパッケージも登場し、なんでもバザールあつでは、風車市場などで絶賛販売中です!



■問合せ: タチラボ ☎0234-43-8382

HP <https://tachi-labo.amebaownd.com/>



町湯 **ギャラリー温泉町湯情報**

年末年始も休まず営業中!

- ・シャンプーバー好評発売中
- ・フェイスパックバーも始めました!!

▼ギャラリーからのお知らせ▼

1/22(木)まで がびいほうすによる小物展示販売

1/25(土)~2/19(水) 徳正蘭氏による写真展

▼今月の変わり風呂▼

1/18(土)、1/19(日)開催!

■問合せ: ギャラリー温泉町湯 ☎0234-43-2222

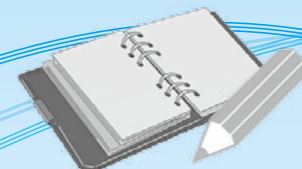
観光あれこれ掲示板

東北の奇祭! やや祭り

- 日時: 1/12(日)
- 会場: 千河原八幡神社
- 内容: 厳寒の1月中旬に千河原集落で古くから行なわれてきた祭りです。当日13時になると、中学3年生までの子どもたちが、呼び出しに従って1人ずつ公民館前のみそぎ台にあがり手桶で冷水を浴びます。そして、集落内を回り、神社へ。その頃神社では、高校生以上の若者たちによるお百度参りが始まります。この祭りでは安産と無病息災・身体堅固を祈願しています。東北の奇祭として全国的にも知られている小正月の風物詩です。



■問合せ: 町観光協会 ☎0234-42-2922



広報委員 放浪記



庚申塔

◆撮影場所 第三学区 仲町

その昔、体の内にいるという三戸虫という虫が、60日に一度の庚申の日の夜寝ている間に閻魔様にその人の悪事を報告しに行くと言われていました。三戸が悪行を報告すると閻魔様は人の寿命を縮めてしまいます。寿命を縮められては大変なので、庚申の日は三戸を食べてくれるという青面金剛の掛け軸を祀ったり、みんなで集まって夜通し和歌を詠んだり、お酒を飲んだり大騒ぎをしたりと、次第にお祭りへと発展した地域もあるのだそうです。これを庚申講といい、18回繰り返すと、その記念として庚申や庚申天と刻んだ石碑を建てるようになりました。



明治以降、この信仰は政府によって迷信だとして禁止され、塔も廃棄させられたのですが、その一部が復元され今でもこのように残っています。あなたのお住まいの地域にもきっとあるはずですよ。

●取材/広報委員 ㊦

北楯大堰開削工事 巨岩滑落事故

◆撮影場所 清川地区 殉難十六夫慰霊塔

北館大学助利長が手がけた北楯大堰の掘削工事は各武将が送り込んだ人夫たちにより進められていましたが、難工事の連続でした。

工事が始まって13日目の慶長17年3月18日昼過ぎ、御諸皇子神社あたりの山際を掘削中の人夫の上に巨岩が突然崩落し、16人が圧死する事故が発生しました。

北館大学は事故後7日間祈禱を行い霊を慰めたといわれています。その場所には昭和14年、北楯大堰普通水利組合が「殉難十六夫慰霊塔」を建設し冥福を祈るとともに事故を後世に伝えていきます。

これら数々の難工事を乗り越えて完成したのが北楯大堰です。



●取材/広報委員 ㊧

スポーツで元気

総合型スポーツクラブ
 コメっち*わくわくクラブ
 ☎0234-43-3347

会員随時募集中!

キッズサッカー教室

- 日時: 第2・4土曜日 15:00~16:30
- 場所: ほたるドーム
- 参加費: 月500円 1回300円
- 対象: 小学2年生まで



サッカーで楽しくからだを動かそう! 大会参加も一切なし! 気軽に誰でも参加できるサッカー教室です!

女子サッカー教室

- 日時: 第2・4土曜日 15:00~16:30
- 場所: ほたるドーム
- 参加費: 月500円 1回300円
- 対象: 制限なし



今話題の女子サッカー! 興味はあるけれど本格的には……というお子さんにおススメ!

庄内町の文化財

紙本墨画

市原円潭筆十二天像屏風

市原円潭(号: 月山人、白道子等)は、酒田の市原氏出身で、江戸に出てはじめ狩野派を学び、後京都にのぼり、大和絵の画家冷泉為恭と交り、大いに技を磨き、晩年国に帰って大淀川の淀川寺に入り、明治34年(1901)6月1日に85歳で没しました。

この十二天像屏風は、京都府東寺にある伝宅磨勝賀の筆になるものを模写したもので、原画の風格をよく伝える貴重なものです。6曲1双であり、それぞれ縦109.4cm、横39.0cmあります。勤王の志士藤本鉄石等と交友を深めていました。

昭和43年12月に町指定文化財に指定されました。

